SX Virtual Link ユーザーズガイド

silex technology サイレックス・テクノロジー株式会社 www.silex.jp

Sep, 2011

WA100170XX

SX Virtual Linkは、デバイスサーバに接続されたUSBデバイスとパソコン間の通信を行うためのソフトウェアです。
デバイスサーバに接続されたUSBデバイスを使用する際は、このソフトウェアを使用して接続/切断の操作を行います。

●対応OS

- Windows 7 (32-Bit Edition / 64-Bit Edition)
- Windows Vista (32-Bit Edition / 64-Bit Edition)
- Windows XP (32-Bit Edition / 64-Bit Edition)
- Windows 2000
- Mac OS X (Ver.10.3.x ～ Ver.10.5.x)：PPC版
- Mac OS X (Ver.10.4.4 ～ Ver.10.6.x)：Intel版

※各オペレーティングシステム (OS) の最新バージョンへの対応状況は当社のWebページをご覧ください。

はじめに

SX Virtual LinkにはWindows版とMacintosh版があり次の機能があります。

■操作が簡単

デバイスサーバに接続されているUSBデバイスを使用するときは、SX Virtual Linkの一覧表示から使用するUSBデバイスを選択して、接続ボタン( )をクリックするだけです。あとは、パソコンにUSBデバイスを接続しているときと同じようにUSBデバイスを使用することができます。USBデバイスの使用が終わったら、SX Virtual Linkの切断ボタン( )をクリックします。(本紙裏面参照)

■自動プリンタ接続機能

デバイスサーバにプリンタ(またはプリンタ機能が搭載されているUSB デバイス)が接続されている場合は、印刷を実行する前にSX Virtual Linkの接続ボタン( )をクリックしなくても、印刷実行を検知して自動で「接続」→「印刷」→「切断」の処理を行うことができます。(本紙裏面参照)

■長時間デバイスを使用している人にリモートでメッセージ通知

USBデバイスを複数のユーザで共有している場合に、長時間USBデバイスを利用しているユーザに対してリモートで切断要求をメッセージ通知することができます。USBデバイスを利用中のユーザが切断要求に応じてくれた場合は、自動的にUSBデバイスの使用権が引き渡されます。(本紙裏面参照)

■USBデバイス毎の動作設定

「接続時に指定アプリケーションを起動する」や「USB デバイスを検出したときは自動的に接続を行う」などの動作設定をすることができます。

■タスクトレイからの接続制御 (Windows)

SX Virtual Linkのメイン画面を表示しなくても、最小化した状態で、タスクトレイのアイコンからメニューを表示して接続/切断の操作が行えます。

■Dockからの接続制御 (Macintosh)

SX Virtual Linkのメイン画面を表示しなくても、Dockのアイコンからメニューを表示して、接続/切断の操作が行えます。

SX Virtual Linkの設定でお困りの際は、お使いのデバイスサーバのマニュアルに記載されている「トラブルシューティング」や弊社ホームページ(http://www.silex.jp/)で公開している「FAQ」を参照してください。
お客様からお問い合わせの多い質問、本製品の導入時に想定される障害とその解決法について説明しています。

カスタマサポートセンター

SX Virtual Linkに関するお問い合わせは、弊社カスタマサポートセンターにて承っております。

電話サポート 0774-98-3981

E-mailサポート support@silex.jp

Step1 SX Virtual Linkをインストールする

SX Virtual Linkのインストール手順について説明します。
ご利用のパソコンに「SX Virtual Link」がまだインストールされていない場合は、手順1.から作業を進めてください。また、デバイスサーバの初期設定から引き続きアプリケーションをインストールする場合は、Windows編は手順3.から、Macintosh編は手順4.から作業を進めてください。

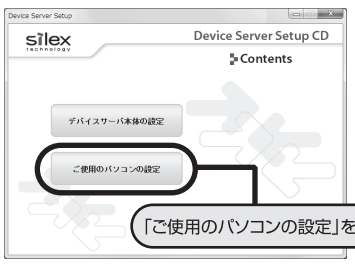
インストールはAdministrator権限を持つユーザで実行してください。
SX Virtual Linkのインストーラはインストール実行後にコンピュータを再起動します。インストール実行前に必ずコンピュータで動作しているソフトウェアをすべて終了させておいてください。

Windows編

Windows パソコンに以下の手順に従ってSX Virtual Link をインストールしてください。

❶ Device Server Setup CDをインストールするパソコンにセットします。

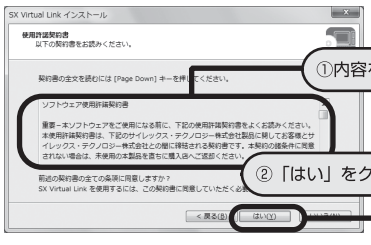
❷



※上記画面が表示されない場合は「マイコンピュータ」のCD-ROMドライブを開いて、「Autorun.exe」を実行してください。
※Windows 7 のパソコンで実行すると、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「はい」を選択してください。
※Windows Vista のパソコンで実行すると、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。「続行」を選択してください。

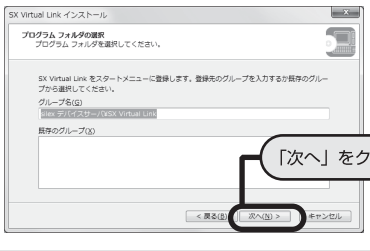
❸

❹

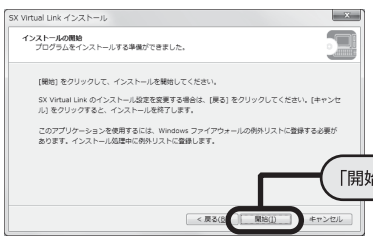


❺

❻



❼



※ Windows セキュリティ画面が表示された場合は、「インストール」を選択してください。

❽

SX Virtual Linkのインストールが完了しました。
「Step2 SX Virtual Linkの基本操作」を参照してUSBデバイスをお使いください。

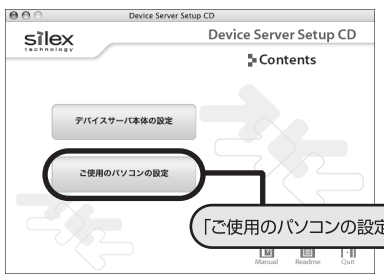
Macintosh編

Macintosh コンピュータに以下の手順に従ってSX Virtual Link をインストールしてください。

❶ Device Server Setup CDをインストールするコンピュータにセットします。

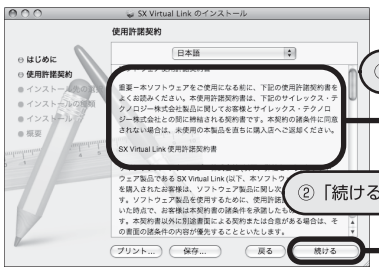
❷ デスクトップ上に表示されたCD-ROM**アイコン**をダブルクリックして、DSSetup**アイコン**をダブルクリックします。

❸

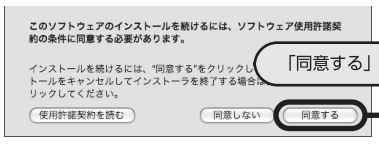


❹

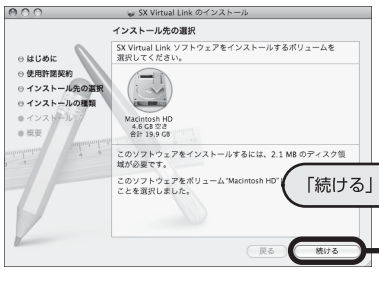
❺



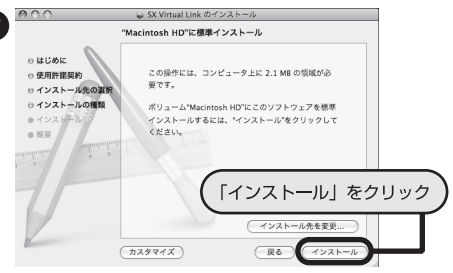
❻



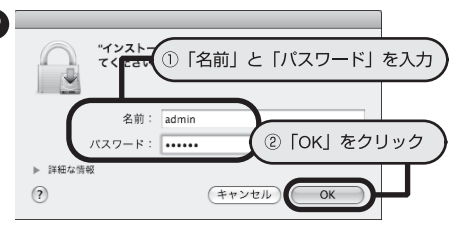
❼



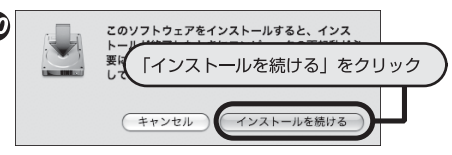
❽



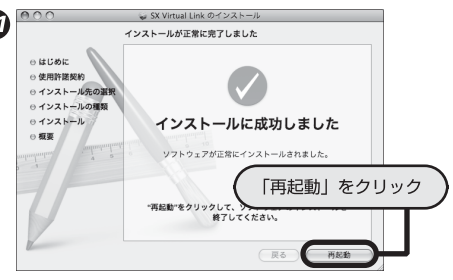
❾



❿



⓫



SX Virtual Linkのインストールが完了しました。
「Step2 SX Virtual Linkの基本操作」を参照してUSBデバイスをお使いください。

Step2 SX Virtual Linkの基本操作

SX Virtual Linkを使用してUSBデバイスを使用する方法を説明します。

Windows編

1. SX Virtual Link を起動する

インストールしたSX Virtual Linkの起動方法について説明します。

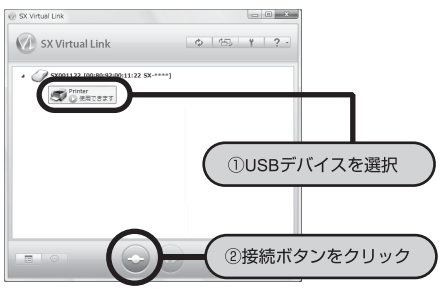
タスクトレイアイコン( )をクリック、またはWindowsのスタートメニューから「**(すべての)プログラム**」−「**silex デバイスサーバ**」−「**SX Virtual Link**」−「**SX Virtual Link**」を順にクリックします。

2. USBデバイスに接続する

使用するUSBデバイスとパソコン間の接続方法を説明します。

ご使用のパソコンにSX Virtual Linkがインストールされていない場合は、Device Server Setup CDよりインストールを行ってください。
USBデバイスをはじめてご使用になる場合は、USBデバイスに付属のソフトウェア（デバイスドライバ）のインストールが必要になることがあります。USBデバイスの取扱説明書を参照して、事前にソフトウェアをインストールしてください。

❶ USBデバイスを選択して接続ボタン（ ）をクリックします。
選択するUSBデバイスのステータス表示が[ ]のときにUSBデバイスと接続できます。
※USBデバイスを選択してダブルクリックすることでも接続ができます。



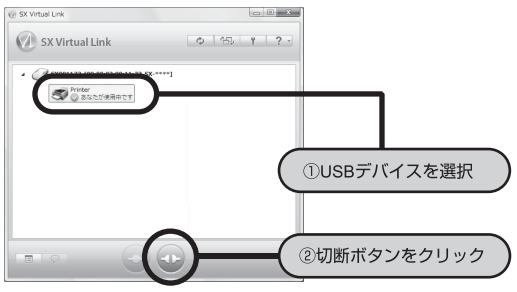
一覧に本製品が表示されない場合は更新ボタン( )をクリックしてください。
下記の操作を行うと、USBデバイス、およびパソコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、一旦作業を中断し、本製品、USBデバイス、パソコンを再起動してから使用してください。
- SX Virtual Linkにて「接続中」に、USBケーブルまたはネットワークケーブルを抜く。
- USBデバイスが動作中にSX Virtual Linkの切断ボタン( )をクリックする。

❷ プラグアンドプレイ機能が動作して、選択したUSBデバイスに適した環境がパソコン上に構築されます。
USBデバイスのステータス表示が[ ]に変わるとUSBデバイスと接続できています。USBデバイスの取扱説明書を参照して使用してください。

各USBデバイスに接続できるパソコンは1台です。他のパソコンで使用中の場合は、デバイスのステータス表示は[ ]となりUSBデバイスと接続できません。

3. USBデバイスを切断する

接続しているUSBデバイスを使用しないときは、USBデバイスを選択して切断ボタン（ ）をクリックします。
※USBデバイスを選択してダブルクリックすることでも切断ができます。



Macintosh編

1. SX Virtual Link を起動する

インストールしたSX Virtual Linkの起動方法について説明します。

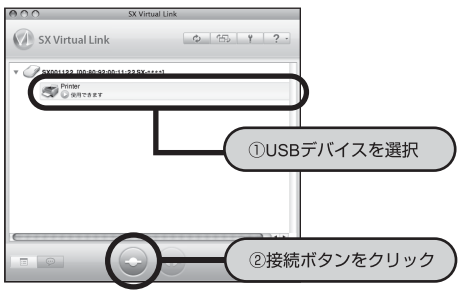
Dockのアイコン( )をクリック、または「**Macintosh HD**」−「**アプリケーション**」−「**SX Virtual Link**」を順にクリックします。

2.USBデバイスに接続する

使用するUSBデバイスとコンピュータ間の接続方法を説明します。

ご使用のコンピュータにSX Virtual Linkがインストールされていない場合は、Device Server Setup CDよりインストールを行ってください。
USBデバイスをはじめてご使用になる場合は、USBデバイスに付属のソフトウェア（デバイスドライバ）のインストールが必要になることがあります。USBデバイスの取扱説明書を参照して、事前にソフトウェアをインストールしてください。

❶ USBデバイスを選択して接続ボタン（ ）をクリックします。
選択するUSBデバイスのステータス表示が[ ]のときにUSBデバイスと接続できます。
※USBデバイスを選択してダブルクリックすることでも接続ができます。



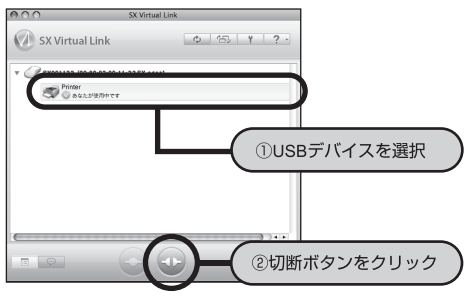
一覧に本製品が表示されない場合は更新ボタン( )をクリックしてください。
下記の操作を行うと、USBデバイス、およびコンピュータの動作が不安定になることがあります。この場合は、一旦作業を中断し、本製品、USBデバイス、パソコンを再起動してから使用してください。
- SX Virtual Linkにて「接続中」に、USBケーブルまたはネットワークケーブルを抜く。
- USBデバイスが動作中にSX Virtual Linkの切断ボタン( )をクリックする。

❷ プラグアンドプレイ機能が動作して、選択したUSBデバイスに適した環境がコンピュータ上に構築されます。
USBデバイスのステータス表示が[ ]に変わると、USBデバイスと接続できています。USBデバイスの取扱説明書を参照して使用してください。

各USBデバイスに接続できるコンピュータは1台です。他のコンピュータで使用中の場合は、デバイスのステータス表示は[ ]となりUSBデバイスと接続できません。

3. USBデバイスを切断する

接続しているUSBデバイスを使用しないときはUSBデバイスを選択して切断ボタン（ ）をクリックします。
※USBデバイスを選択してダブルクリックすることでも切断ができます。

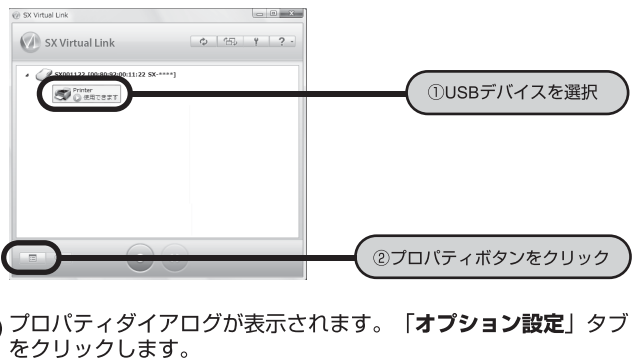


Step3 SX Virtual Linkの便利な機能を使用する

■自動プリンタ接続機能を使用する

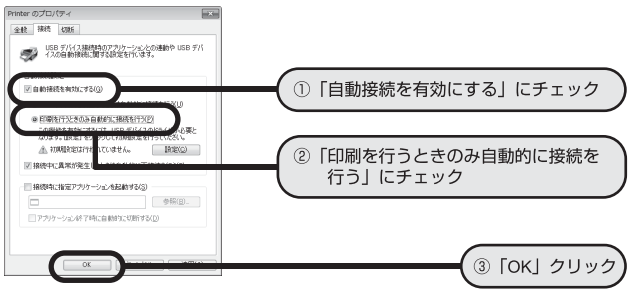
デバイスサーバに接続しているUSBデバイスに、プリンタ機能が搭載されている場合は、印刷を実行する前に「SX Virtual Link」で接続操作を行わなくても、印刷を実行すると自動で「接続」→「印刷」→「切断」の処理を行うことができます。この機能を使用するための詳細な設定について説明します。
※プリンタの機種によっては、この機能をご使用になれない場合があります。

❶ 設定するプリンタをメイン画面のリストから選択して、プロパティボタン( )をクリックします。



❷ プロパティダイアログが表示されます。「**オプション設定**」タブをクリックします。

❸「**自動接続を有効にする**」にチェックを入れて、「**印刷を行うときのみ自動的に接続を行う**」を選択します。
「**OK**」をクリックします。



プリンタドライバのインストールが行われていない、またはまだ一度もSX Virtual Linkで接続されていない場合は設定が必要です。
設定方法については、SX Virtual Link Online Helpを参照してください。
SX Virtual Link Online Helpの参照方法は、右記をご覧ください。

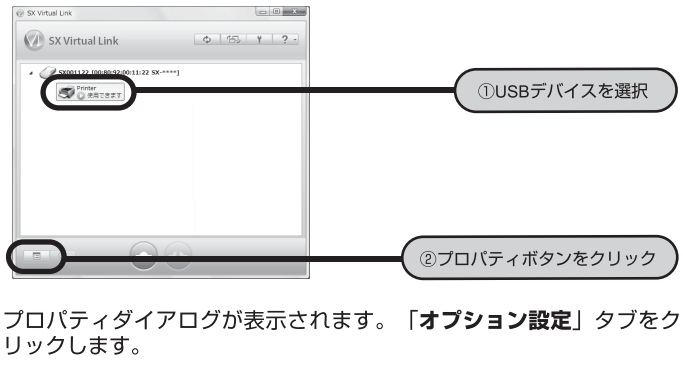
以上で自動プリンタ接続機能が有効になりました。アプリケーションから手順3.で選択したプリンタを指定して印刷すると自動で印刷が行われます。

ご使用になるプリンタによっては、印刷が完了した際に、プリンタドライバに付属のプリンタステータス監視ツールがエラー表示になる場合があります。印刷動作には影響がありませんので手動でプリンタステータス監視ツールを終了してください。

■接続時にアプリケーションを起動する

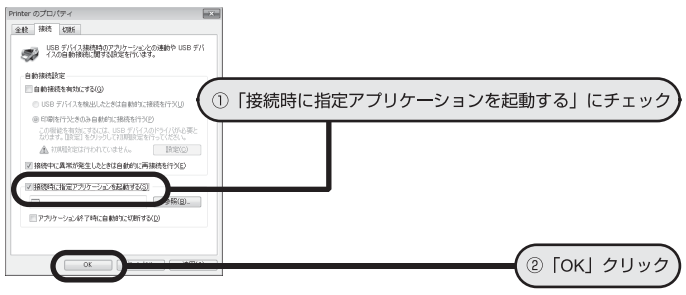
SX Virtual Linkでは、USBデバイスに接続した際に、自動で任意のアプリケーションを起動することができます。スキャナに付属の画像読み取りソフトやミュージックプレイヤに付属の音楽管理ソフト、ストレージメディアに付属のバックアップソフトなど、USBデバイスに付属しているアプリケーションを登録しておくと、SX Virtual LinkでUSBデバイスに接続するだけで登録したアプリケーションが自動で起動します。

❶ 設定するプリンタをメイン画面のリストから選択して、プロパティボタン( )をクリックします。



❷ プロパティダイアログが表示されます。「**オプション設定**」タブをクリックします。

❸「**接続時に指定アプリケーションを起動する**」にチェックを入れます。
「**参照**」ボタンをクリックするとファイル選択ダイアログが表示されますので、登録するアプリケーションの実行ファイル(.exe)を選択して「**開く**」をクリックします。設定が終わったら「**OK**」をクリックします。



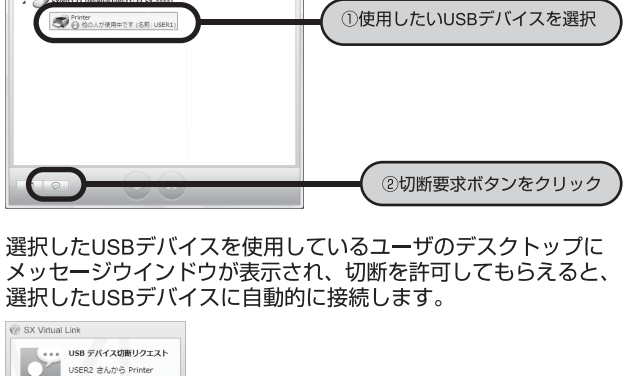
登録したアプリケーションを終了した際に、USBデバイスとパソコンの接続を自動で切断するように設定することができます。自動切断する場合は「アプリケーション終了時に自動的に切断する」にチェックを入れます。

以上でアプリケーションの自動起動設定が有効になりました。SX Virtual Linkで設定したUSBデバイスに接続すると自動で登録したアプリケーションが起動するようになります。

■切断要求を使用する

使いたいUSBデバイスを他のユーザが使用中の場合に、USBデバイスの使用権を譲ってもらえるようコミュニケーションする機能を搭載しています。これを「切断要求」といいます。

❶ 使用したいUSBデバイスをメイン画面のリストから選択して、切断要求ボタン（ ）をクリックします。



❷ 選択したUSBデバイスを使用しているユーザのデスクトップにメッセージウインドウが表示され、切断を許可してもらえると、選択したUSBデバイスに自動的に接続します。

■オンラインヘルプを参照する

ヘルプボタン( )をクリックして、表示されるメニューから「**ヘルプ**」を選択するとSX Virtual Linkのオンラインヘルプが表示されます。